

【FISA15】

128. 部下の成熟度に合わせる「状況対応型リーダーシップ」研修

1. 研修要領

・ITSS	-
・研修実施日	2024年9月20日(金)
・研修実施時間・日数	9:30 ~ 16:30 (6時間/日)/ 昼休憩 12:30 ~ 13:30 (60分)
・研修会場	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室
・研修受講料(税別・テキスト代込)	30,600円(FISA会員) / 34,000円(FISA非会員)

2. 対象者

- ・チームリーダー及びプロジェクトリーダーとしてリーダーシップ及び組織活性化を高めたい方
- ・部下のスキル指導やモチベーションアップに課題を感じている方
- ・リーダーとしての指示や支援を効果的にメンバーに発揮したいと考えている方

3. カリキュラムの概要

ケン・ブランチャード(Ken Blanchard)氏によって開発されたリーダーシップ理論SLII®に沿って学習します。部下の成熟度や状況に応じて、上司としてサポートの仕方も変えていく必要があるという考え方です。部下の状況は能力とコミットメントによって変化します。この組み合わせによって、リーダーは指示的行動と支援的行動の異なる対応をしていきます。部下の状況は以下開発段階の4つに分類します。メンバーの『個』に視点を置き、有効なリーダーシップの発揮を目的とした研修です。

4. 使用教材

オリジナルテキスト

5. 到達目標

1. メンバーの成熟度によって、リーダーとしての振る舞いを変える技術が身につく
2. リーダーシップ・スタイル診断により他者視点から自己のスタイルを見直すことができる
3. いつでも、誰にでも同じ指導ではなく、部下の状況に応じて効果的な育成ができる

6. カリキュラムの詳細

1日間(6時間)

科目	時間	科目の内容
1. 「個」を活かす人材開発の時代	1.0h	・「個」の時代に求められるリーダーシップ ・状況対応型リーダーシップ(SL理論)とは ・SL理論で求めるリーダー像
2. 状況に応じたリーダーシップの発揮	1.5h	・メンバーの状況を知る ・開発レベルとは何か ・部下の開発レベル判定【練習問題】 ・ニーズを聴けているか
3. 効果的リーダーシップ	1.5h	・指導と支援の使い分け ・教示型、コーチ型、支援型、委任型のポイント ・成長を加速させる言葉と行動 ・【演習】指導、目的共有、任せる
4. 職場での実践活用	1.5h	・4スタイルの効果的フィードバックスキル ・ケース別判定事例 ・1on1実践【ロールプレイ】
5. まとめ	0.5h	・質疑応答 ・振り返り、今後の課題
計	6.0Hr	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。